

2022

中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

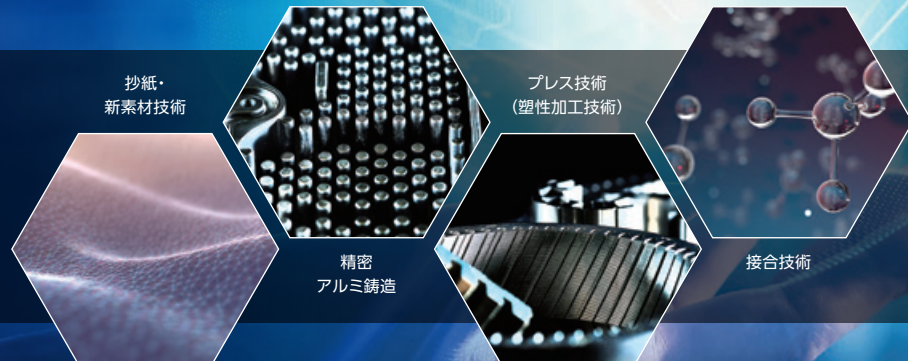


素材のチカラを、 未来のカタチに

クラッチ開発で培った世界トップレベルの技術を活かして、
人と社会に豊かさと快適さを。

電費向上や軽量化、熱マネジメント、CO₂削減などを追求した最先端技術で、
カーボンニュートラルな社会の実現に貢献します。

未来の社会と環境の礎を
「創る」「整える」「つなぐ」
4つの主要技術



To Our Shareholders | ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2022年度第2四半期の事業内容を報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、持ち直しの動きが見られたものの、供給面での制約や物価上昇、金融資本市場の変動もあり、先行き不透明な状況で推移しました。自動車業界では、生産は回復基調にあるものの、半導体の供給不足による減産影響や原材料価格の高騰影響等が継続したことに加え、中国のロックダウンによる減産が影響しました。このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、減産影響があったものの、インドや米国の販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は1,071億48百万円(前年同期比35.0%増)となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり42億36百万円(前年同期比23.9%減)となりました。税引前四半期利益は57億23百万円(前年同期比4.0%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は33億74百万円(前年同期比18.6%減)となりました。

中間配当金につきましては、業績等を総合的に勘案し1株当たり26円とさせていただきます。

今後の経営環境は、電動化への動きが一層加速しており、自動車業界のみならず、他業界を含めた企業間の競争がますます激しくなっておりますが、第11次中期経営計画の最終年度として、既存事業の競争力強化に加え、事業領域拡大への取り組みの比重を高め、電動化・脱炭素社会における持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。



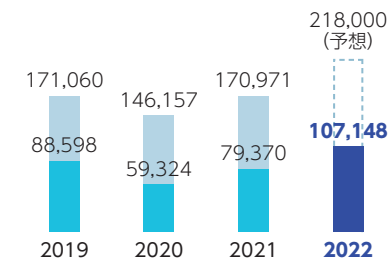
代表取締役社長

齋藤 善敬

2022年11月

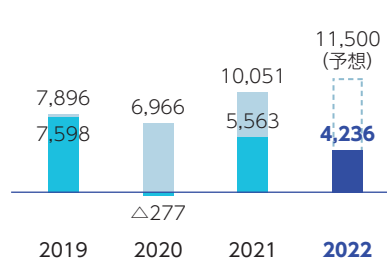
売上収益(百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



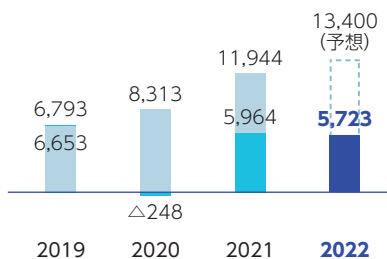
営業利益(百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



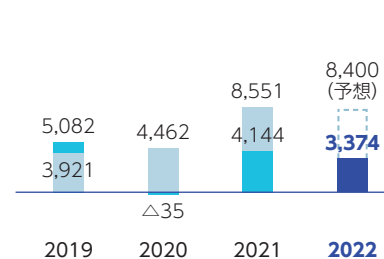
税引前利益(百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



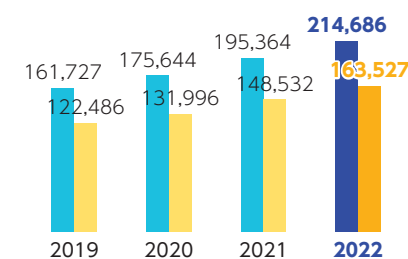
親会社の所有者に帰属する
四半期(当期)利益(百万円)

■ 第2四半期 ■ 通期



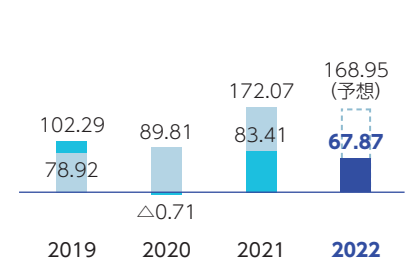
資産/資本(百万円)

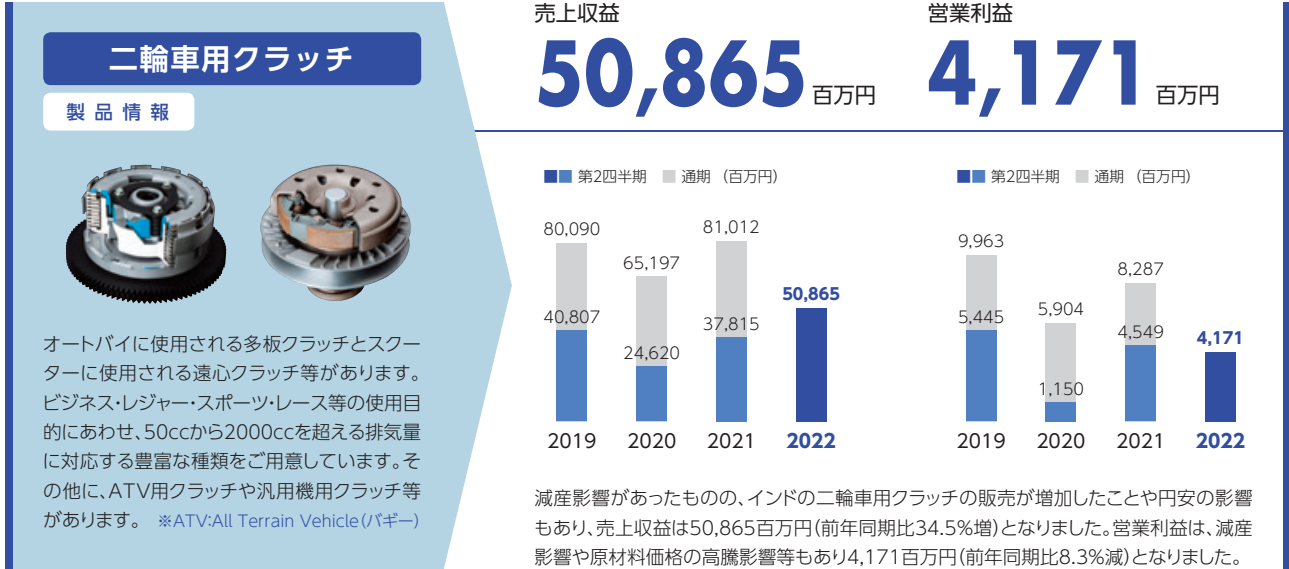
■ 第2四半期 資産 ■ 通期 資産
■ 第2四半期 資本 ■ 通期 資本



基本的1株当たり
四半期(当期)利益(円)

■ 第2四半期 ■ 通期



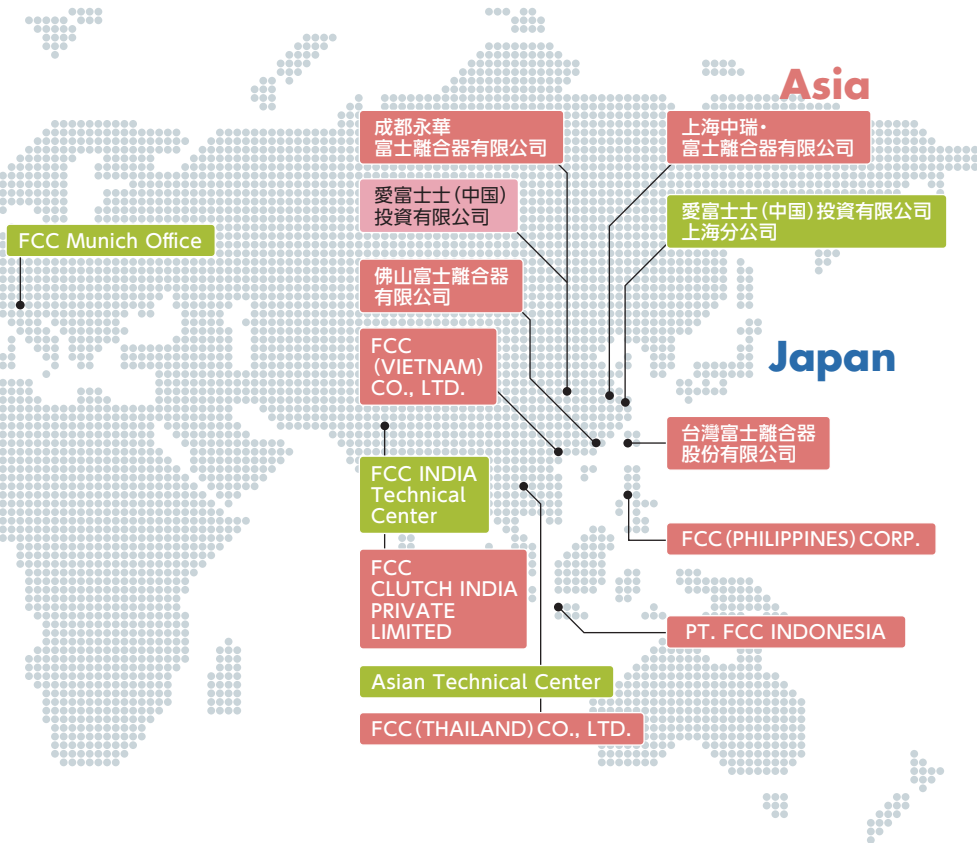
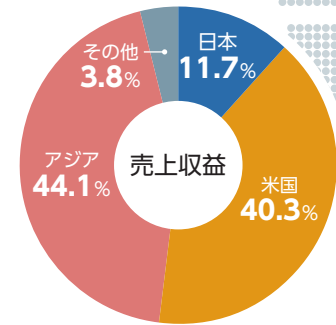


世界に羽ばたく F.C.C.のネットワーク

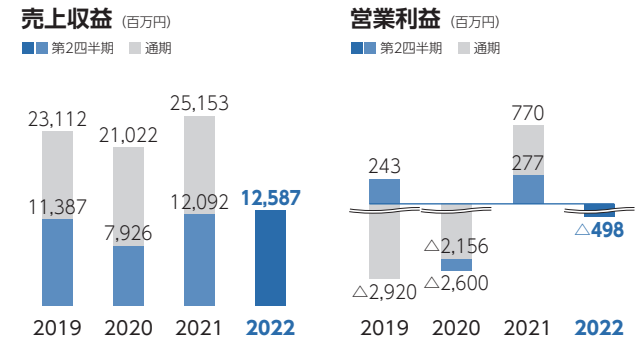
1988年、ジェイテックインコーポレイテッド*（米国インディアナ州）の設立を皮切りに、いまF.C.C.は海外10ヶ国、14社、22生産拠点のラインナップで全世界のニーズに対応しながら、ハイクオリティー、ローコストな製品づくりを目指しています。

これによってそれぞれの市場に対応するだけでなく、生産技術の高いレベルに保った相互補完システムをも構築し、より強固な供給体制を確立しました。

* 現 FCC(INDIANA), LLC

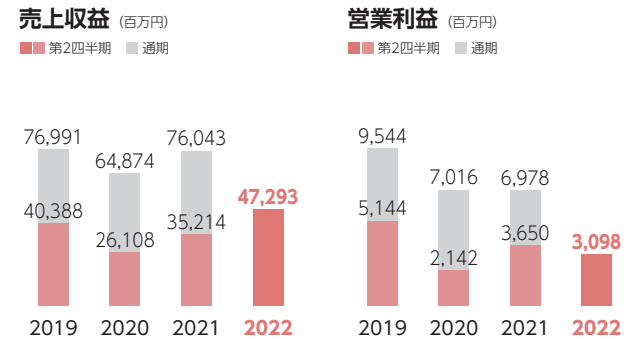


日本 Japan



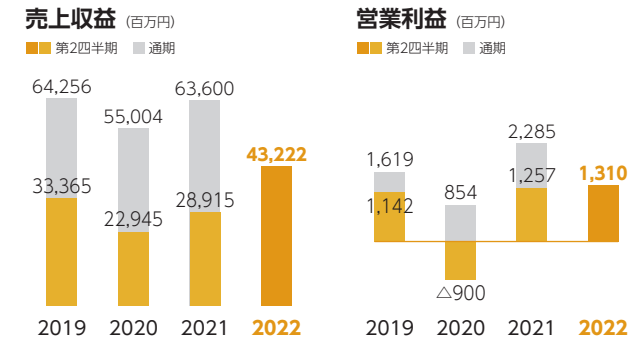
四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は12,587百万円（前年同期比4.1%増）となりました。営業利益は、費用増加もあり498百万円の営業損失（前年同期は277百万円の営業利益）となりました。

アジア Asia



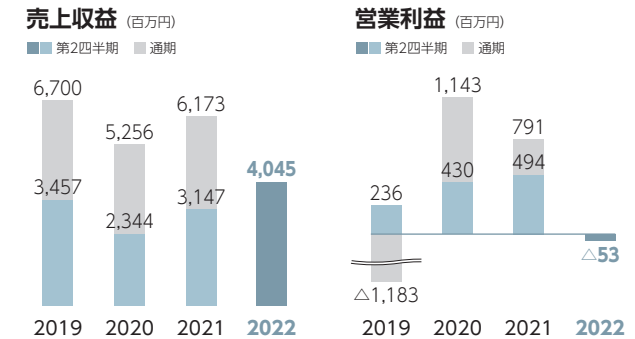
減産影響があったものの、インドの二輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は47,293百万円（前年同期比34.3%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり3,098百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

米国 America



減産影響があったものの、四輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は43,222百万円（前年同期比49.5%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等があったものの、増収効果もあり1,310百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

その他 Others



円安の影響もあり、売上収益は4,045百万円（前年同期比28.5%増）となりました。営業利益は、メキシコの減産影響やブラジルの費用増加もあり53百万円の営業損失（前年同期は494百万円の営業利益）となりました。

要約四半期連結財政状態計算書

科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
資 産		
流動資産		
現金及び現金同等物	44,627	49,364
営業債権及びその他の債権	34,203	40,935
その他の金融資産	2,413	2,714
棚卸資産	30,780	35,257
その他の流動資産	2,985	3,689
流動資産合計	115,010	131,961
非流動資産		
有形固定資産	60,029	63,076
のれん及び無形資産	3,805	3,676
持分法で会計処理されている投資	168	185
その他の金融資産	13,607	12,842
繰延税金資産	2,595	2,646
その他の非流動資産	146	297
非流動資産合計	80,354	82,725
資産合計	195,364	214,686

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)
負 債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,254	20,371
借入金	6,100	6,100
その他の金融負債	385	396
未払法人所得税	2,125	2,266
引当金	1,669	3,037
その他の流動負債	7,042	7,283
流動負債合計	35,577	39,456
非流動負債		
その他の金融負債	1,260	1,241
退職給付に係る負債	1,644	1,486
引当金	14	14
繰延税金負債	7,973	8,428
その他の非流動負債	362	531
非流動負債合計	11,255	11,703
負債合計	46,832	51,159
資 本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	132,252	134,720
自己株式	△4,764	△4,723
その他の資本の構成要素	14,962	27,279
親会社の所有者に帰属する持分合計	146,625	161,452
非支配持分	1,906	2,074
資本合計	148,532	163,527
負債及び資本合計	195,364	214,686

要約四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
売上収益	79,370	107,148
売上原価	△65,441	△92,362
売上総利益	13,928	14,786
販売費及び一般管理費	△8,520	△10,765
その他の収益	253	298
その他の費用	△98	△82
営業利益	5,563	4,236
金融収益	453	1,515
金融費用	△49	△22
持分法による投資損益	△3	△5
税引前四半期利益	5,964	5,723
法人所得税費用	△1,759	△2,243
四半期利益	4,204	3,480
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,144	3,374
非支配持分	59	106
四半期利益	4,204	3,480
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	83.41	67.87
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	—	—

(単位:百万円)

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,878	7,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,406	△4,637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,582	△1,635
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,888	1,214
現金及び現金同等物の期首残高	39,607	44,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	151	3,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,648	49,364

2022年度(2023年3月期)の連結業績予想

売上収益	2,180億円	(前期比 27.5%増)
営業利益	115億円	(前期比 14.4%増)
税引前利益	134億円	(前期比 12.2%増)
親会社の所有者に帰属する当期利益	84億円	(前期比 1.8%減)
基本的1株当たり当期利益	168.95円	

ホームページ「技術・開発」ページ
リニューアルのお知らせ

<https://www.fcc-net.co.jp/tech/>

未来の社会と環境の礎を「創る」「整える」「つなぐ」4つの主要技術を紹介しております。クラッチ製造で磨き上げたテクノロジーを多角的に応用し、社会に価値を提供し続けてまいります。



Stock Information | 株式の状況

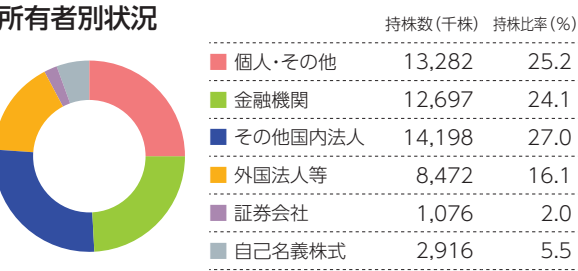
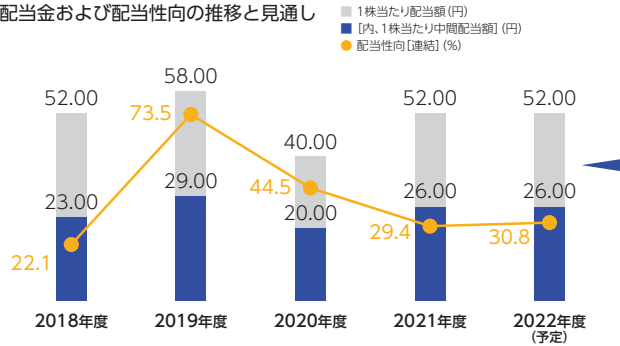
株式の状況	2022年9月30日現在
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	52,644,030株
株主数	27,623名
単元株式数	100株
証券コード	7296

大株主(上位10名)		2022年9月30日現在	
		持株数(千株)	持株比率
1	本田技研工業株式会社	10,881	21.9%
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,266	10.6%
3	株式会社SMBC信託銀行 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	2,483	5.0%
4	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,406	4.8%
5	株式会社ワイ・エー	2,019	4.1%
6	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,315	2.6%
7	山本 恵以	1,300	2.6%
8	エフ・シー・シー取引先持株会	870	1.7%
9	山本 節子	694	1.4%
10	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	693	1.4%

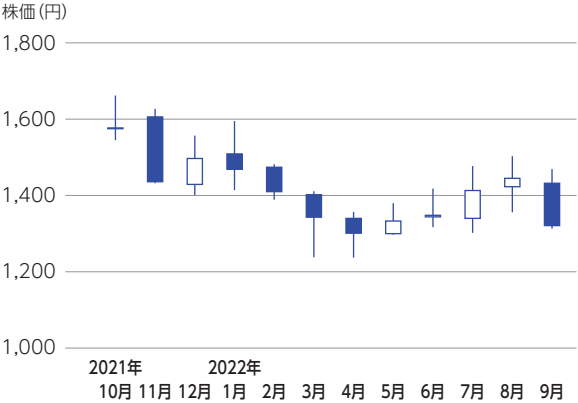
(注) 1. 当社は自己株式を2,916,364株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

配当政策および配当金

配当金および配当性向の推移と見通し



株価の推移



【配当政策】

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、将来の成長のために必要な設備投資や研究開発を行い、会社の競争力を維持、強化することで企業価値の向上に努めるとともに、連結業績や配当性向等を総合的に勘案し、安定した配当を継続することを基本方針としております。

【配当金】

本年11月4日開催の取締役会の決議により、当期の中間配当金を1株当たり26円とさせていただきますことになりました。

Corporate Data | 会社概要

会社概要

商 号	株式会社エフ・シー・シー (英文:F.C.C. CO.,LTD.)
本 社	静岡県浜松市北区細江町中川 7000番地の36 TEL:053-523-2400(代)
資 本 金	41億75百万円
代 表 者	代表取締役社長 斎藤善敬
設 立	1939年(昭和14年)6月
従業員数	8,053名(連結) 2022年9月30日現在
事業内容	二輪車および四輪車のフラッチならびに その他の部品の製造販売

役 員

	2022年9月30日現在
代表取締役社長	斎 藤 善 敬
常 務 取 締 役	鈴 木 一 人
常 務 取 締 役	向 山 敦 浩
取 締 役	腰 塚 國 博
取 締 役	小 林 和 徳
取締役 常勤監査等委員	松 本 隆 次 郎
取締役 監査等委員	佐 藤 雅 秀
取締役 監査等委員	杉 山 一 統
取締役 監査等委員	山 本 真 由 美

腰塚國博、小林和徳、佐藤雅秀、杉山一統および山本真由美の各氏は、社外取締役であります。

「中間報告書・年次報告書」に関するお知らせ

当社の「中間報告書・年次報告書」に関して、次回「2022年度年次報告書」から印刷・郵送を行わず、当社ホームページへの掲載のみとさせていただきます。当社は、サステナビリティの考え方にに基づき、環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてまいります。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

https://www.fcc-net.co.jp/ir/library_detail.php?type=2

次回
「2022年度年次報告書」は
右記二次元コードより
ご覧ください



主な子会社

(国内生産会社)			
(株)九州エフ・シー・シー	(株)フリント	天龍産業(株)	
(海外生産会社)			
FCC (INDIANA), LLC	【米国】	FCC (North Carolina), LLC	【米国】
FCC (Adams), LLC	【米国】	FCC (THAILAND) CO., LTD.	【タイ】
FCC (PHILIPPINES) CORP.	【フィリピン】	成都永華富士離合器有限公司	【中国】
上海中瑞・富士離合器有限公司	【中国】	FCC CLUTCH INDIA PRIVATE LIMITED	【インド】
PT. FCC INDONESIA	【インドネシア】	台灣富士離合器股份有限公司	【台湾】
FCC DO BRASIL LTDA.	【ブラジル】	佛山富士離合器有限公司	【中国】
FCC (VIETNAM) CO., LTD.	【ベトナム】	FCC AUTOMOTIVE PARTS DE MEXICO, S.A. DE C.V.	【メキシコ】
(持株会社・統括会社)			
FCC (North America), Inc.	【米国】	愛富士士(中国)投資有限公司	【中国】

事業所所在地

本 社	〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
技 術 研 究 所	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の46
生産技術センター	〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の78
浜 北 工 場	〒434-0046 静岡県浜松市浜北区染地台6丁目1番1号
渡 ケ 島 工 場	〒431-3423 静岡県浜松市天竜区渡ケ島1500番地
鈴 鹿 工 場	〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町5421番地
東京オフィス	〒351-0021 埼玉県朝霞市西弁財1丁目1番5号 金子ビル1階
大阪オフィス	〒563-0046 大阪府池田市姫室町1番1号 池田YMビル402
栃木オフィス	〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜1丁目5番40号 ちちぎ産業創造プラザ内102

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
剰余金の配当基準日 3月31日
中間配当を実施する場合 9月30日
単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行います
ホームページアドレス <https://www.fcc-net.co.jp/>
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を 保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の 変更およびマイナンバーの お届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等に なります。	 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
未払配当金、その他当社株式 関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行まで お問い合わせ願います。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求)についての お問い合わせ	お取引の証券会社または 右記みずほ信託銀行まで お問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座 振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーの お届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

株主優待制度について

株主優待制度の内容

- (1)対象となる株主様
毎年3月31日、9月30日現在200株以上かつ1年以上継続保有※の株主の
皆様を対象といたします。
※「1年以上継続保有」とは、3月31日および9月30日の当社株主名簿に、同一株主番号
で3回以上連続して200株以上の保有が記載または記録されていることをいいます。
- (2)贈呈品

	贈 呈 品	送付時期
3月31日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	5月下旬
9月30日現在の株主様	2,500円相当の地元特産品	1月中旬

※所有株式数にかかわらず、200株以上ご所有の株主様一律の内容です。



株式会社 エフ・シー・シー

本 社 〒431-1394 静岡県浜松市北区細江町中川7000番地の36
TEL(053)523-2400(代) FAX(053)523-2405
<https://www.fcc-net.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。